# グリーンとしま

## 再生プロジェクトのあゆみ

SDGs 未来都市としま

TOSHIMA International City of Arts & Culture

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

# もくじ

01　宮脇 昭氏 プロフィール
02　宮脇 昭先生へ感謝のメッセージ
03　「グリーンとしま」再生プロジェクトのあゆみ
04　「いのちの森」から広がる新たな地域活動

## 01「学校の森」植樹祭編

06　「学校の森」植樹祭
07　「学校の森」植樹祭概要一覧表
08　「学校の森」植樹の様子
16　平成21年 緑と環境の区民フォーラム

## 02「いのちの森」植樹祭編

18　「いのちの森」植樹祭
19　平成22年「いのちの森」植樹祭概要一覧表
20　平成22年 緑と環境の区民フォーラム
21　平成23年「いのちの森」の植樹
22　平成23年「いのちの森」の植樹 実施概要一覧

## 03「いのちの森」を未来へ

24　「いのちの森」から広がる新たな地域活動の様子
26　「学校の森」10周年記念植樹
28　「いのちの森」「学校の森」10万本達成記念式典

## 「グリーンとしま」再生プロジェクト 植樹場所

30　これまでの植樹場所


「グリーンとしま」
再生プロジェクトのあゆみ

## 作成によせて

日本一の高密都市である豊島区をみどり豊かな環境都市として再生することを目指して、平成21年度から「グリーンとしま」再生プロジェクトを開始しました。

その土地の在来の樹種を密植・混植することにより、長持ちする本物の森、いのちを守る森をつくるという植物生態学者の宮脇 昭先生の提唱する植樹法をご指導いただき、区内全区立小中学校や区内各地に植樹を進めてきました。

このプロジェクトにご尽力いただいた宮脇 昭先生が、令和3年7月16日にご逝去されました。

このたび、先生を偲んで、先生と「グリーンとしま」再生プロジェクトの軌跡を振り返りながら紹介する冊子を発行することといたしました。
この冊子を通じて、このプロジェクトの取組を未来の地球環境を担う区内の子どもたちに伝え、継承していきたいと思います。

©mitsuko todoroki

# 宮脇 昭

## Akira Miyawaki

昭和３年（1928）岡山県生まれ。植物生態学者。広島文理科大学卒業。
ドイツ国立植生図研究所で潜在自然植生理論を学び、横浜国立大学名誉教授、（公財）地球環境戦略研究機関国際生態学センター長などを歴任。約10年をかけて日本全国を巡り、潜在的な自然植生を調査してまとめた「日本植生誌（至文堂）」ほか著書多数。
近年では、（公財）地球環境戦略研究機関国際生態学センター終身名誉センター長となる。
令和３年（2021）7月16日、93歳で永眠。

［略歴］

| | |
|---|---|
| 昭和　3年（1928） | 岡山県に生まれる |
| 昭和27年（1952） | 広島文理科大学生物学科卒業 |
| 昭和33年（1958） | 西ドイツ植生図研究所 |
| 昭和36年（1961） | 広島文理科大学より博士号 |
| 昭和36年（1961） | 横浜国立大学講師 |
| 昭和37年（1962） | 横浜国立大学助教授 |
| 昭和48年（1973） | 横浜国立大学　環境科学研究センター教授 |
| 昭和49年（1974） | 通産省エネルギー庁　環境審査会顧問 |
| 昭和55年（1980） | 国際植生学会副会長 |
| 平成　5年（1993） | 横浜国立大学名誉教授 |
| 平成　5年（1993） | （財）国際生態学センター研究所長 |
| 平成　8年（1996） | 国際生態学会会長 |
| 平成19年（2007） | （財）地球環境戦略研究機関　国際生態学センター長 |
| **平成21年（2009）** | **豊島区「学校の森」植樹祭にて植樹指導** |
| **平成22年（2010）** | **豊島区「いのちの森」植樹祭にて植樹指導** |
| **平成23年（2011）** | **豊島区「いのちの森」植樹・育樹活動指導** |
| 平成28年（2016） | （公財）地球環境戦略研究機関　国際生態学センター終身名誉センター長 |
| **平成30年（2018）** | **豊島区「いのちの森」「学校の森」10万本達成記念式典参加** |
| 令和　3年（2021） | 7月16日、93歳で永眠 |

# 宮脇 昭先生へ感謝のメッセージ

初めて宮脇先生のご指導により豊島区に植樹を行ったのは、平成20年の夏、立正佼成会豊島教会でした。
教会の一角に植えた苗木は13年経った今、大きな森に生長し、地域のシンボルとなっています。

プロジェクト開始の際、宮脇先生がおっしゃられたのは
「我々はどんなに科学技術が発展しても、森の寄生虫の立場でしか、この地球上では持続的に生きてはいけない。一番大事なことは、命を守ること。自分の命、愛する人の命を守るため、森の回復・創造をしなければならない。」
「木を植えることは、命を植えること。明日を植えること。そして心に木を植えることです。」
この言葉をヒントに、まず、区内小中学校の植樹から始めることにしました。

平成21年度に宮脇先生のご指導のもと、子どもたちがつくる「いのちの森」、「学校の森」植樹祭を実施しました。区内31小中学校で木を植え、樹木と触れ合う植樹により、防災など地域の拠点である学校に新たなみどりを植える、「学校の森」が生まれました。

学校は、子どもたちの思い出の場所でもあり、防災など様々な面から地域のシンボルでもあります。その場所で、未来を担う子どもたちが、未来の環境のために1本1本丁寧に植えました。多くの人の協力を頂きながら、地域の方々と一緒になって、オール豊島で実施することができました。その後、植樹の範囲は、区内公共施設や公園などに広がりました。

宮脇先生の指導により「10年で10万本」を目標に区民参加で植樹を進めてきた結果、区内に約100か所の「いのちの森」「学校の森」が生まれました。平成30年には目標の10万本を達成し、記念式典も実施いたしました。

その後も植樹を続けた結果、現在では、豊島区内の植樹本数は131,476本（令和4年1月31日時点）にまで増えています。宮脇先生と共に植樹した樹木は、今や立派な森として育っています。

今後も、「いのちの森」をつくり続けていくことが、私たちの責務であると決意を新たに、本物のみどりあふれるまちづくりの実現に向けて、全力で取り組む所存であります。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。
宮脇先生、長い間、本当にありがとうございました。

豊島区長
**高野 之夫**

「グリーンとしま」再生プロジェクト
実行委員会 委員長
**石森 宏**

# 宮脇 昭氏と「グリーンとしま」再生プロジェクトのあゆみ

| | |
|---|---|
| 平成20年6月 | 宮脇 昭氏が高野区長と対談 |
| 7月 | 立正佼成会豊島教会が「いのちの森」を植樹 |
| 12月 | 「グリーンとしま」を再生するキックオフイベント実行委員会発足 |
| 平成21年4–5月 | 「学校の森」植樹祭　4月28日～5月8日　区立小中学校31校で約10,000本の植樹 |
| | 「学校の森」植樹祭記念式典　4月28日（豊成小学校） |
| 5月 | 緑と環境の区民フォーラム　5月30日・31日（帝京平成大学冲永記念ホール） |
| 7月 | 「グリーンとしま」を再生するキックオフイベント実施報告書を発行 |
| 平成22年1月 | 「グリーンとしま」再生プロジェクト第1回実行委員会 |
| 2月 | 植樹に関する講習会（区職員・施設職員向け） |
| 4月 | 植樹に関する講習会（4回） |
| 5月 | 「いのちの森」植樹祭　5月12日～24日　区内施設31か所で約5,500本の植樹 |
| | 「いのちの森」植樹祭記念式典　5月12日（豊島清掃事務所・旧第十中学校） |
| 6月 | 緑と環境の区民フォーラム　6月27日（立教大学池袋キャンパス） |
| 10月 | 「グリーンとしま」再生プロジェクト実施報告書発行 |
| 平成23年5月 | 植樹に関する講習会（2回） |
| 5–7月 | 「いのちの森」の植樹　5月22日～7月1日　区内公園等33か所で約12,000本の植樹 |
| | 南長崎はらっぱ公園記念セレモニー　5月22日 |
| 7月 | 「学校の森」・「いのちの森」育樹活動　7月6日～8日（千登世橋中学校・さくら小学校・巣鴨小学校） |
| 9月 | 「いのちの森」の植樹　育樹講演会および育樹活動　9月23日（豊島清掃事務所） |
| | 「学校の森」・「いのちの森」育樹活動　9月28日～30日 |
| | （南長崎はらっぱ公園・千早児童館・千早小学校・上池袋第一児童館・豊成小学校） |
| 平成24年1月 | 平成23年度「グリーンとしま」再生プロジェクト実施報告書発行 |
| 5月 | 「いのちの森」植樹（池袋本町電車の見える公園・天祖神社・豊島高校・文京高校） |
| 平成25年5月 | 「いのちの森」植樹（南長崎スポーツ公園・千早高校・みらい館大明） |
| 平成26年5月 | 「いのちの森」植樹（上池袋くすのき公園） |
| 平成30年6–7月 | 「学校の森」植樹（区立小中学校23校） |
| 平成30年10月 | 「いのちの森」「学校の森」10万本達成記念式典 |

平成21年（2009年）1/1 広報 どしま　No.1413　新年特別号

謹賀新年

かけがえのない緑を次の世代に手渡すために

新春のお慶びを申し上げます

人と環境にやさしい安心して暮らせるまちを創ります

新春対談

本物の緑あふれるまちをめざして

宮脇 昭

高野之夫

平成21年 新年特別号 宮脇 昭氏と高野区長が対談

## 「いのちの森」から広がる新たな地域活動

| | |
|---|---|
| 平成24年度開始 | 「いのちの森」苗木配布事業<br>（年2回） |
| 平成25年度開始 | みらい館大明「いのちの森」<br>環境学習講座（年2回） |
| 平成26年度開始 | 南長崎はらっぱ公園「いのちの森」<br>観察会（育樹活動）（年1回） |
| 平成27年度開始 | 誕生記念樹配付事業（通年）<br>としまグリーンウェイブ事業（3月～6月） |
| 平成28年度開始 | 池袋本町電車の見える公園「いのちの森」<br>育樹活動（年1回） |

みらい館大明「いのちの森」
環境学習講座の様子

## 10万本までの推移

| | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | R2年度 | R3年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 植樹本数 | 10,174 | 5,483 | 12,043 | 8,202 | 11,948 | 9,203 | 9,184 | 8,803 | 18,230 | 10,005 | 6,701 | 16,768 | 4,732 |
| 植樹累計 | 10,174 | 15,657 | 27,700 | 35,902 | 47,850 | 57,053 | 66,237 | 75,040 | 93,270 | 103,275 | 109,976 | 126,744 | 131,476 |

植樹本数　植樹累計

※R3年度はR4年.1.31 現在